
所 属 : 平和研究所

職・氏名 : 准教授 竹本 真希子

U R L : http://www.hiroshima-cu.ac.jp/modules/peace_j/index.php

研究キーワード : 歴史学、ドイツ史、平和運動、平和思想、反核運動

■研究テーマ

① テーマ：ドイツ近現代史

概要：20世紀のドイツの政治文化の特徴を、左派の知識人の言論活動（小説、新聞、雑誌記事など）を通して分析しています。

② テーマ：ドイツにおける平和思想と平和運動

概要：『平和』とは何かを、近現代のドイツ史の脈絡から研究しています。平和運動が本格的に始まった19世紀末から、二度の世界大戦を経て現在に至るまで、ドイツ社会の中で「平和」がどのように議論されたか、「平和」意識はどのように変化してきたのかに注目しています。また西ドイツの反核平和運動など、時代ごとの平和運動の特徴を明らかにし、広島との関係性を探っています。

■研究テーマの応用例

ドイツに対する理解を深めることに有効です。同時に日本の歴史および平和思想・平和運動史との比較が可能です。

■主な著書、発表論文

- ・『ドイツの平和主義と平和運動 ヴァイマル共和国期から 1980年代まで』（法律文化社、2017年）
- ・「一九八〇年代初頭の反核平和運動——『ユーロシマ』の危機に抗して——」（若尾祐司・本田宏（編）『反核から脱原発へ ドイツとヨーロッパ諸国の選択』昭和堂、2012年）
- ・Peace, Pacifism and Peace Movements in Germany during the First Half of the 20th Century (Carol RINNERT / Omar FAROUK / INOUE Yasuhiro (eds.), *Hiroshima & Peace*, Hiroshima: Keisuisha 2010)
- ・「ヴァイマル共和国末期の平和運動の諸問題——オシエツキーと『ヴェルトビューネ』をめぐる裁判から」（『専修史学』第45号、2008年11月）

■想定される連携先

- ・公的研究機関
- ・教育機関
- ・市民団体など